

今月の一言

キーワード：育成

なぜ原田左官は若手の育成に力を入れるのか

人を育てることにウエイトを置いて全社的に取り組んでいるのには理由があります。左官業の商品は「職人の技術力」そのものです。他に売り物はありません。いい商品を顧客に届けて、業界内で勝ち残ろうと思ったら、いい仕事をする職人を育てることに注力するしか道はないと考えています。

左官は今でも人が手で仕上げる仕事で、建築業の中でこんなに手技が重要な分野は少ないでしょう。職人の技術が仕事の質を左右しますし、腕の善し悪しが会社の力を左右する大きなファクターとなります。ですから、いい職人を育てる「仕組み」こそが、会社を牽引するエンジンであり、会社にとってかけがえのない財産なのです。

若手の人材育成に取り組むのは、ベテランの職人にとっても勉強になります。現在、新人の見習いに経験10年ぐらいの中堅を教育係としてつけていますが、相談にのったり、指導する中で、そのひとたちに「教える」スキルを磨いてほしいという思いがあります。自分以外の人間の責任も引き受けることで、職人としても人間としても成長してくれることを期待しています。

著書：新たな“プロ”の育て方「なぜ左官屋で若者と女性が活躍できるのか」より

著者：原田左官工業所 代表取締役 原田宗亮

技術の伝承は、コツコツと！

2017年3月24日

さいのう とおる

追伸：新人もくる。新しい風をみんなで吹かせよう！前向きにやろう！